



四倉市場の取扱高

昨年より五千貫増

総額十一萬五千八百貫

四倉市場の取扱高は漸く出廻り勢を呈し去る二十日から二十一日に至る取引左記の如く昨今では白、黄、赤を合せて四、五十貫の出荷に止まり相場は白、赤の調子一圓前後、黄、赤の調子一圓前後、八十錢前後を唱ひてある本月十一日以來十一日間に亘る石双調組合となつての第一年の取扱高は二萬七千二百七十六貫七百九十匁この取扱高は一萬五千八百六十一圓六八錢に達し平均値四十二圓四十七錢は平均値に於て前年五十五圓四十九錢に比

事業準備が出来て 廳舎の竣工大運引

手古摺る平保健所

平市宇八幡小路舊警署中グラウンドに建つ國營保健所は今六月末までに竣工の豫定を以て請負工事中であるが工事材料の不揃へ其の他で行程に大狂ひを生じ來七月中にも落成覚束なくはないかと云はれてゐる同所の事業は七月一日から開始されるもので所長には既に左記の任命があり六月一日より平細齒検査所に於て準備事務を執つて居り所長は去る十日から十二日間厚生省に開催中の全國同所長會議に出

徐州戦で負傷

永戸出身の勇士
★平山與四郎二等兵、石城郡永戸村の渡戸出身、飯島部隊に屬し徐州大會戦に奮闘名譽の戦傷を負つた同君は父に死別し六人兄弟の末子で實家は長兄松治（六）さんがあるが妻子と共に岩手縣に出稼ぎ次兄與三九君も出征されて居りす々の兄歌吉（三）君は東京に出て働き留守は母あさの（五）さんが一人日備で暮してゐる

星製 中支視察旅行

廿六日長崎歸着の豫定

星製主催の皇軍慰問を兼ねる中支視察團は六十二名の一行を以て去る十三日午前十一時神戸港から山形丸で出發し一同無事豫定のコースを踏んでゐるが同一行には石城郡玉川村の駒木根忠三氏及び錦村の星秀夫氏が加はつてゐる歸着は来る二十六日（長崎）の管で生々しい事變下にある同地に臨み支那の衛生施設保健状態

相馬野馬追を 社団法人に

創立委員で準備
相馬の野馬追祭が近づいた同地では時局柄軍國の意氣昂揚と武運長久祈願のため諸種の

報國貯蓄に 協力の

平野では報國貯蓄の強調に關

日刊報日曜日誌
日刊報一ヶ月廿五
報費一元二角五分
廣告料一元四角五分
發行所 中谷啓
〒三三三 平野
新刊報日曜日誌

常識講座

マキアヴェリスムは權謀主義のことだ、目的の爲めには手段を選ばず權謀術を弄して正義など顧みざるもの、伊太利人マキアヴェリイの創唱にかゝる、マキアヴェリイ主義とも云

平第四校の 神饌田の田植

平市第四小學校（平野）では昨二十一日尋常五年以上の生徒を以て神饌田の田植を神職の嚴かなる修被あり七五三を廻らす中に引かれた後引續いて實習田三反歩の挿秧をも終了した

戦地 勝利はこれみな

銃後皆々様のお力

警中出身 小松 四郎
拜啓、御尊家益々御清榮の段奉大賀候、現て今回は御難く厚く御禮申上候、御蔭は北支戦線に於て名譽の戦死

無言の凱旋

石城郡好間村出身皇軍曹
五、銀行、會社、工場等に於て實施するもの、
（一）社員（行員）又は従業員に對し趣旨の普及徹底を圖ること、
（二）社員または従業員は從業員の貯蓄組合を設置すること、
（三）その他、

報國貯蓄に 協力の

平野では報國貯蓄の強調に關

自稱株屋の店員 詐欺横領の疑

福住に滞宿の男
平市駅前福住旅館に十日程前から投宿滞在中の男が毎日市内南町の平園基クラブに出入り初段級の腕を以て地元同好者を撫で切り大氣焔でゐる舉動不審の爲め昨二十二日午後三時平野署の刑事が本署に引致取調べたところ山梨縣甲府市紅梅町生れ現住東京市本郷區

渡部巡査 名譽の戦傷

平野の勤務
平野勤務から應召したる伍長渡部武巡査は兩角部隊に屬し徐州大會戦に參加活躍右肩に貫通銃創を負つた旨同君の出征後双葉郡大久村の實家にあつた

父千葉彦治儀豫而病氣の處藥石 効なく本日午前一時死去候に付 此段謹告仕候

追而二十三日茶屋に附し告別式は二十四日午後一時より二時迄平市長橋町性源寺に於て執行仕候、
猶時局柄花輪放鳥等は堅く御辭退申上候
昭和十三年六月二十二日
平市宇八幡小路一番地
長男 直彦
新威總代
友人總代
千葉鶴治
栗野豊助
大原忠之助
鈴木辰三郎
山田勇太郎

報國貯蓄に 協力の

平野では報國貯蓄の強調に關

報國貯蓄に 協力の

平野では報國貯蓄の強調に關

報國貯蓄に 協力の

平野では報國貯蓄の強調に關

報國貯蓄に 協力の

平野では報國貯蓄の強調に關

報國貯蓄に 協力の

平野では報國貯蓄の強調に關

報國貯蓄に 協力の

平野では報國貯蓄の強調に關

報國貯蓄に 協力の

平野では報國貯蓄の強調に關

報國貯蓄に 協力の

平野では報國貯蓄の強調に關

報國貯蓄に 協力の

平野では報國貯蓄の強調に關

報國貯蓄に 協力の

平野では報國貯蓄の強調に關

報國貯蓄に 協力の

平野では報國貯蓄の強調に關

報國貯蓄に 協力の

平野では報國貯蓄の強調に關

仙台藩郷友會

當會長辯護士千葉彦治殿本日午前一時死去せられ候に付此段謹告候
昭和十三年六月二十二日



絹毛混織用の多糸量蠶種

これは短繊維として使用する... 蠶桑を給與する粗放な飼育で好成績

た、問題は現在のところ出来るだけの軽い経費でもつて生産しても羊毛に比べる

藤沼醫院 平市紺屋町 電五〇七

スペインG・H・N 元詰 ゴルフポートワイン 甘味葡萄酒 1・20

デリーサービス RESTAURANT MARUTOMO 堂食モトルマ

看護見習募集 明雲堂眼科醫院 (電話六六九)

夏の帽子 麦一文字こ子供帽 パラソル 二重張と晴雨兼用傘 ツルヤ 平電一四〇

帝國海上火災保險株式會社 安田系統の帝國海上

根本産婦人科醫院 平市南町 根本莊次郎

安流丸 諸毒下しの大妙藥 持約山野遠藥局

サロソ 飲食 喫茶 酒場を兼ねた

モートル 變壓器 販賣、修理 社會資合 所工鉄藤佐

平病院 院主 院長 醫學博士 鈴木定藏

和洋鋼鐵、金物問屋 店商屋釜 九九・九電

診療科目 一、齒科 一、一般 一、口腔外科